

广報

一
八

ようめ

発行所 秋田県五城目町役場 総務課 電話(018876) 代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

「 いはじめた早風景
遅い春の訪れに、今年の田植作業も相当遅くなるのではない
かと心配されていましたが、昨年頃から急速に普及しはじめた
田植機が運ばれてきた今、2台の秧秋風景は半減し、機械を運ぶ
する男子の姿が多くみられるようになつた。どのかな田園風景
が田植機に支配されるのも、そう遠くないことでしょう。
直轄は古代農歴
ちなみに、稻作の歴史をひもどいてみると、大神宮の儀式等
にみられる稻作神事には、古風な作法が伝承されています。
その中では苗の移植を認めがたとしており、古代は田植直
前の様式で、直播法が一部の学者は想定する所です。
おり、静岡市登呂遺跡の水田の遺構などからして、直播の存在す
した事実が推定の根拠とされています。近代農法の弊を集めて
今効果的な直播法を取り入れようとしていることを考えるところ

変る田植風景

田植の方法はどう農業にとって千年にわたる古くて新しい研究課題でもあることは農業にとって千年にわたる古くて新しい研究課題でもあります。古代米から米の歴史と故郷をわが秋田県においても稻の栽培は古く、昭和三十六年の第三回秋田城放火調査したとき、住居跡から明らかに火災の乱の際焼きはられたとみられる古代米が見つかりました。横手市金沢八幡町からは、後三年の役の際に失った兵糧倉跡(完治元年、一〇八人七町)と同じく横手市の中通ノ館からは、室町頃の本丸跡から何れも古代米が発見されたのです。このようにして、各地方城で、土器に付着した発見された稻穀関係の遺体はすでに五百を数え、土器に付着した糞尿痕や遺跡を差掲げた時の米粒等によって、米の故郷とその歴史を研究する手が染められていました。

風物詩の薬草は即ち日本の歴史を採め

稻の歴史は即ち日本の歴史につながるわけで、初夏の風物詩である田植風景の変革が、揺れ動く農政の脱皮に今後どうのようになり結びつき、農業の歴史を採っていくことでしょうか。

こ、2~3年で消えさうとする田植風景～（富津内高田で）

は第二期の山村振興の指定を受けたとして、産業開発、生活改善、保健体育等の総合施設として、山村開拓センターを建設することになり、よい。本年度から着手する運びとなつた。

構想は、鉄筋コンクリート四階建であるが、エレベーターで四階に昇り、五城目町を望む全景はすばらしく、昭和の象徴としては、殿堂が、雀舎公園そばの高台に姿を現すわけである。

山村振興の殿堂

広報サロン

企画課長 司富 石川



企画課長 石川 審司

広報
サロン

七月七日・ 投票所で会いましょう

参議院議員通常選挙です

任期満了による参議院議員通常選挙は、六月七日(日)に投票が行なわれることになりました。

参議院議員の選挙権のある者は、日本国民であって年令が満二十才以上の者で、禁治産者や一定の处罚者でなく、さらに「昭和四十九年三月十二日以前から引き継いで町内に住んでいた者」であります。

つまり、住民課に転入届をして住民票が作成されてから三ヶ月以上になり、しかも選挙人名簿にも登録されている者でなければなりません。

六月十四日(日)十八日(五日間)綱領の場所

五城目町選挙管理委員会会議室

人場券の配付

選管では、いつの選挙でも入場券を発行していますが、転居等のため居住先が不明で送り返されるものが大変多くあります。これらはその大部分が届けのもので、あるは誤算によるものであります。転居、転入の届けは、自分の居住する場所をよく確かめた上で役場へ定まつたらすぐ届け出るとともに「町内会長、町政協力員の方へも必ず届けてください。」

い合わせては、選管へ問い合わせください。

○番を六月十一日より七月十日まで取付けます。
疑問などについては、選管へ問い合わせください。

直通電話は四三〇〇番です



一票でママは政治のお洗濯

小島 功

中川原	二田
石崎	金吾
大川	加藤 隆一
広ヶ野	明治七年、石
米沢	鶴岡八重誠、平
蓬内台	岡田四郎
大川	兼高 四郎
猿田	富弥
八柳	内藤 信弘
莊平	鷹

○周年を記念して、始めて組織されたもので、四年十一月二十日には認可を得たとされています。

更に大正四年十一月十五日に創立五十周年

記念事がおこなわれています。

明治四十三年十月十八日第四回

城目警察分署内消防巡回訓練

は創立五十周年

記念事がおこなわれています。

昭和とそして戦前、戦中、戦後と

消防団は、団長以下十三ヶ分團、三三五名、

活動ボンブ三十台の陣容で防災に

設置運動によつて始めて組織さ

れました。

昭和とそして戦前、戦中、戦後と

消防団は、団長以下十三ヶ分團、三三五名、

活動ボンブ三十台の陣容で防災に

設置運動によつて始めて組織さ

れました。

この伝統ある消防の意義を高く

当つて。この間、明治、大正

昭和とそして戦前、戦中、戦後と

消防団は、団長以下十三ヶ分團、三三五名、

活動ボンブ三十台の陣容で防災に

設置運動によつて始めて組織さ

れました。

昭和三十年四月、近隣五ヶ町に

合併されています。現在、当町

の消防現勢は、消防吏員二十五名

○周年を記念して、始めて組織さ

れました。

昭和三十年四月、近隣五ヶ町に

合併されています。現在、当町

の消防現勢は、消防吏員二十五名



老令福祉年金が9月から 7,500円に

~ 国民年金が改善されました ~

現 在 在 在	・ 障害福祉年金 (身体障害者)	九月から	年金額から大幅に引き上げられる
一 級	・ 老齢特別給付金	九月から	年金額から大幅に引き上げられる
二 級	(六十七才より六十九才)	九月から	年金額から大幅に引き上げられる
一 級	七千五百円	五十五百円	五十五百円
二 級	七千五百円	五千五百円	五千五百円

④ 保険料は1ヶ月から千円に

⑤ 地方税法の改正により保険税については今回、次のような改正を行なわれました。

⑥ 保険料は1ヶ月から千円に

⑦ 保険料は1ヶ月から千円に

⑧ 保険料は1ヶ月から千円に

⑨ 保険料は1ヶ月から千円に

⑩ 保険料は1ヶ月から千円に

⑪ 保険料は1ヶ月から千円に

⑫ 保険料は1ヶ月から千円に

⑬ 保険料は1ヶ月から千円に

⑭ 保険料は1ヶ月から千円に

⑮ 保険料は1ヶ月から千円に

⑯ 保険料は1ヶ月から千円に

⑰ 保険料は1ヶ月から千円に

⑱ 保険料は1ヶ月から千円に

⑲ 保険料は1ヶ月から千円に

⑳ 保険料は1ヶ月から千円に

㉑ 保険料は1ヶ月から千円に

㉒ 保険料は1ヶ月から千円に

㉓ 保険料は1ヶ月から千円に

㉔ 保険料は1ヶ月から千円に

㉕ 保険料は1ヶ月から千円に

㉖ 保険料は1ヶ月から千円に

㉗ 保険料は1ヶ月から千円に

㉘ 保険料は1ヶ月から千円に

㉙ 保険料は1ヶ月から千円に

㉚ 保険料は1ヶ月から千円に

㉛ 保険料は1ヶ月から千円に

㉜ 保険料は1ヶ月から千円に

㉝ 保険料は1ヶ月から千円に

㉞ 保険料は1ヶ月から千円に

㉟ 保険料は1ヶ月から千円に

できる。

③ みなし法人課税を選択した場合

前記の世帯(4/10世帯)

平均割額一人につき1560円

平均割額一人につき1590円

六四〇円

7月 ごみ収集日

町名	7月				
	1回	2回	3回	4回	5回
希望ヶ丘	1	5	10	20	25
田町	1	5	10	20	25
広ヶ野町	1	5	10	20	25
今御藏町	1	5	10	20	25
小池町	1	5	10	20	25
川原町	1	5	10	20	25
新町	2	6	11	22	26
一番町	2	6	11	22	26
占川町	2	6	11	22	26
紀久栄町	2	6	11	22	26
中川原町	2	6	11	22	26
館岩町	2	6	11	22	26
岩城町	2	6	11	22	26
築地町	3	7	12	20	27
烟町	3	7	12	20	27
新烟町	3	7	12	20	27
矢場崎	3	7	12	20	27
仲長町	4	9	19	24	31
米沢町	4	9	19	24	31
雀館	4	9	19	24	31
昭辰町	4	9	19	24	31
富津内	13	29			
内川	13	29			
馬場目	13	29			
大川面	15	30			
馬川	15	30			

①川等へゴミを捨てないでください。
②残飯類の水切りは必ず実行してください。

- 1 廃棄物は袋、標簽のないものは収集されませんので必ずつけるようご協力下さい。
- 2 廃棄物を直接搬入する際は必ず焼却炉へ前もって連絡してください。(電話3958)
- 3 廃棄物の大きさはリソーシング程度に定めていますから重ねて運びください。
- 4 13日より18日まで煙突掃除の為、釜の使用ができませんのでご不自由をおかけしますがよろしくご協力下さい。

- ◎町の福祉事業役立てて下さいとのことです。どうもありがとうございます。
- 一、衣類セーター外
一、衣類スリーブ外
一、高齢者用ヨシエ
米沢町 和田キヨエ
下高崎 京野 孝喜
五一小一年C組、小学校
一年の時から貯金箱に貯めた五円硬貨

五城目町社会福祉協議会
善意銀行五城目支店

おしらせ

高令者体力づくり運動
しあわせは健康

誰でもできる怪スポーツ
サイクリング、歩こう運動
オリンピックラン

おかあさんの テレビルーム会員募集

お申込みは公民館へ

誰でもできる怪スポーツ
サイクリング、歩こう運動
オリンピックラン

町では、「町民総参加のスポーツ健康は健康から」をテーマに、このたび高令者を対象に、いつでも楽しめる、楽しくできるスポーツ教室の開催をいたしましたので、希望者は、老人クラブを通じて、次の内容によりお申し込みください。
・各老人クラブより、希望者をご推せんください。

①川等へゴミを捨てないでください。
②残飯類の水切りは必ず実行してください。

③年に五回位、全員が公民館にあります。年生五年生。

④対象 幼児と児童(全町の四歳児)

⑤申込先 五城目町公民館

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟